

編集後記

7月16日、震度6強を観測する新潟県中越沖地震が発生した。現時点で、死者10人、負傷者1300人余、全壊建物900余棟という被害状況と報道されている時に、「防災、災害復旧」を特集し読者の皆さんにお届けすることになりました。

本号では、地震、水害、火山活動に対する防災、災害復旧、建設現場における緊急警報システム等を取りあげた。今年3月に起きた能登半島地震では、1995年1月の阪神淡路大震災や2004年10月の中越地震の経験、教訓がボランティアの受け入れや活動にまで活かされたときいている。本号に掲載された事例もこれまでの経験や教訓が活かされたものだと思うが、不幸にして実際に災害が起きたときに有効に作動することを祈ってやまない。

先日、ロサンゼルスオリンピックで体操の個人総合優勝した具志堅氏のことが報じられているテレビ番組を見た。最初は良いが後半になると失速しメダルを逃す。平行棒ではどうしても肘が曲がり得点が伸びない。そんな選手がアキレス腱断裂で

再起不能と言われる闘病生活に入った。闘病中、当時はあまり話題になっていなかったイメージトレーニングを憶えた。肘が曲がらない演技を来る日も来る日もイメージした。退院後、平行棒でイメージした演技を試みた。これまで何度練習してもできなかった肘を曲げない演技が練習することなくできたという。

防災、災害対策が机上のシステムにならないよう普段から訓練、教育を繰り返し、それぞれ住民を含めた関係者のイメージトレーニングができていれば、マニュアルに頼ることなく身のある行動が自然にできるようになるものと確信します。

ちなみに筆者の会社においても緊急時における安否確認システムの全社一斉訓練が実施される。まずは社員の安否確認、出勤できる職員の把握ができれば次のステップである災害復旧活動に迅速な対応が期待できる。果たして結果はどうだろうかと考える。

さて、ご多忙中にもかかわらず報文の執筆にご協力を頂きました執筆者各位に心より感謝いたします。この場をお借りして感謝申し上げます。(岩本・伊藤)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

中野 正則	国土交通省
-------	-------

編集委員

廣松 新	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
米田 隆一	農林水産省
小沼 健一	(独)鉄道・運輸機構
村東 浩隆	株高速道路総合技術研究所
伊藤 崇法	首都高速道路株
高津 知司	本州四国連絡高速道路株
平子 啓二	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設株
和田 一知	川崎重工業株
岩本雄二郎	株熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機株
金津 守	コマツ
藤永友三郎	清水建設株
村上 誠	新キャタピラー三菱株
宮崎 貴志	株竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業株
中山 努	西松建設株
斉藤 徹	株NIPPOコーポレーション
三柳 直毅	日立建機株
岡本 直樹	山崎建設株
大林 正明	株奥村組
石倉 武久	住友建機製造株
京免 継彦	佐藤工業株
久留島匡繕	五洋建設株
庄中 憲	施工技術総合研究所

9月号「河川、港湾、湖沼、海洋工事特集」予告

- ・スーパー中核港湾「阪神港」の整備について
- ・信濃川河川改修・整備事業報告
- ・東京国際空港の再拡張事業について
- ・霞ヶ浦流域における下水高度処理について
- ・END工法～新しい環境浚渫 (Environmental Dredging) 技術～
- ・水底汚染土対策のための原位置固化工法「CDM-SSC工法」
- ・ダイオキシン類汚染底質の汚濁抑制浚渫と脱水中間処理
- ・人工海底山脈の築造と施工管理について
- ・サンゴ群体の船舶による長距離運搬技術の開発
- ・水中バックホウの遠隔施工技術
- ・みえ尾鷲海洋深層水取水・送水施設の整備
- ・海洋淡水化事業の計画と施工、その後の運用について
- ・日本建設機械要覧2007「作業船」総括
- ・高払底率多段掘径杭工法

No.690「建設の施工企画」 2007年8月号

〔定価〕1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成19年8月20日印刷

平成19年8月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日見

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支店	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支店	〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支店	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支店	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支店	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支店	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支店	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322